

科目名 Course Name	介護総合演習 I Care Practice Support I				ナンバリング No.	J1-010	
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>介護実習に必要な基本的知識について学び、利用者像を理解する。また、各授業で学習している知識・技術を具体的かつ実践的に結びつけ、生活の場や介護の場の理解につなげる。さらに、記録することの意義と必要性を理解し、具体的な記録方法について学ぶ。</p> <p>①介護実習の意義、目的、内容を説明でき、実習をイメージできるようにする。                  ②実習先となる施設の概要と利用者像を述べられるようにする。                  ③実習生および援助者としての心構えができ、マナーのある行動ができるようにする。                  ④実習記録の意義と目的を説明でき、適切に記録ができるようにする。                  ⑤各授業で学習した内容を関連づけながら、基礎実習 I に向けた自己の目標や課題を明確にできるようにする。</p>						
授業の方法	講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク等、多様な授業形態をとる。第 14 回目の実習記録に関する授業では個別指導も行う。基礎実習 I の実習前学内オリエンテーションと反省会は別途実施する。						
学習成果	L01	介護実習に必要な基本的知識を習得し、実習に向けた準備をすることができる。					
	L02	実習に対する心構えができ、社会的マナーも含め、責任ある行動をとることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	実習日誌の課題は、添削後、個別に指導しながら返却する。各自の課題達成状況に応じて、個別指導とフィードバックを繰り返す。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第 10 巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 介護実習の手引き						
履修上の留意点やルール等	●実習用の証明写真を準備する。詳細は授業で説明する。費用は自己負担となる。●実習開始に合わせて、新型コロナウイルス感染防止対策に関する内容を説明する。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、使用する教材を準備し、必要なことはノートにとっていること。課題や実習関連書類の提出期限を守っていること。		20		
レポート/作品	【レポート1・3】テーマに沿った学び・気づき等、自分の考えが具体的に記述できている。 【レポート2】調べた内容をわかりやすく対比表にまとめている。	20	20		
発表					
小テスト					
試験	介護福祉職や介護サービス、関連法律について出題する。	20			
その他	【レポート4】指定日を実習日誌に記録する。S 評価は、記録方法に沿って見やすく書けていること。学び等、自分の考えが記述できていること。	20			
<b>合計</b>		60	40		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 「介護実習の手引き」について説明
	事前・事後学習	介護実習のシラバスを読む。テキストP4、P33の表を読み、介護福祉士養成カリキュラムの全体像を知っておく。テキスト P23～30 を読み、実習Ⅰ・Ⅱの目的や内容から、実習全体を捉え、自分自身の動きをシミュレーションする。
2	授業内容	介護実習の理解(意義と目的)、視聴覚教材「介護の現場で学ぶ～高校生のための社会福祉実習～」の視聴【レポート1:VTRを視聴した感想と学び、提出は次回授業時】
	事前・事後学習	授業の内容をノートにまとめる。福祉小六法などを使い、「社会福祉士及び介護福祉士法」を読む。VTR を視聴した感想と学びをレポート用紙に記述し、提出する。実習全体を捉え、自分自身の動きをシミュレーションする。
3	授業内容	基礎実習Ⅰの準備(実習施設、実習先希望調査について説明) 実習先施設の理解① 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)を中心とした生活の場の理解
	事前・事後学習	学内にある資料やインターネットを活用して実習先について調べ、希望調査票を記入・提出する。テキスト P112～124 を読む。介護老人福祉施設と特別養護老人ホームの根拠法を暗記する。
4	授業内容	実習先施設の理解② 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
	事前・事後学習	テキストP112～124 および配布資料を読む。介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の概要をノートにまとめる。
5	授業内容	実習先施設の理解③ 介護老人保健施設、通所施設(デイサービス・デイケア) 【レポート2:対比表の作成、提出は第11回目の授業時】
	事前・事後学習	テキスト P125～135、P90～111 を読む。介護老人保健施設と通所施設(デイサービス・デイケア)の概要をノートにまとめる。介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)と介護老人保健施設の対比表を作成する。
6	授業内容	実習形態と方法、実習の流れ(事前事後を含む)、介護実習を行うための基準(非該当)の説明【レポート3:指定図書を読んだ感想と学び、提出は第9回目の授業時】
	事前・事後学習	「介護実習の手引き」を読む。介護実習前・中・後、全体の流れを捉え、自分自身の動きをシミュレーションする。実習に必要な持ち物を準備する。
7	授業内容	実習時のマナー① 身だしなみ・言葉遣い等(社会的マナーを含む)
	事前・事後学習	テキスト P56 を読む。実習に臨むためのマナーや心得をノートにまとめる。実習時の服装を考え、準備を始める。指定図書を読み、感想と学びを指定用紙に記述し、提出する。
8	授業内容	実習時のマナー② 心構え、「ほう・れん・そう・かく」、注意事項、事前訪問について
	事前・事後学習	「介護実習の手引き」P10、テキスト P60・61 を読む。実習の流れをもとに、事前訪問までの行動計画を立てる。
9	授業内容	実習時のマナー③ 電話のかけ方、御礼状の書き方
	事前・事後学習	配布資料を読み返す。家族や友人に協力していただき、電話をかけるシミュレーションを行う。テキスト P66・67 を読む。御礼状に必要な便箋と封筒を準備する。
10	授業内容	実習記録① 記録の必要性とその方法(「介護実習の手引き」に沿って説明)
	事前・事後学習	配布資料および「介護実習の手引き」P9 を読む。実習記録の書き方や提出方法について、授業での内容をノートにまとめる。
11	授業内容	実習記録② 具体的な記録の方法
	事前・事後学習	授業の内容をノートや「介護実習の手引き」にまとめる。第10回授業時の配布資料を読み返す。
12	授業内容	実習記録③ 実習日誌の記録方法 【レポート4:指定日を実習日誌に記録する、提出期限は授業で指示する】
	事前・事後学習	実習日誌の見本をよく読む。指定日の実習日誌を記録し、提出する。

13	<b>授業内容</b>	基礎実習 I の準備(実習関連書類の配布・記入) 実習に向けた感染対策
	<b>事前・事後学習</b>	実習関連書類の作成、提出。基本となる感染対策を日常生活で実施する。
14	<b>授業内容</b>	実習記録④ 実習日誌の書き方(個別指導) 基礎実習 I の準備(検便容器の配布・説明)
	<b>事前・事後学習</b>	課題の添削内容をもとに、記録時の留意点をノートや「介護実習の手引き」にまとめる。 実習日誌の書き方を覚える。
15	<b>授業内容</b>	基礎実習 I の準備(実習記録一式を配布) 授業のまとめ(実習記録の書き方・目標の立て方を中心に説明)
	<b>事前・事後学習</b>	授業の内容をノートや「介護実習の手引き」にまとめる。目標の立て方をもとに、基礎実習 I に向けて、様式 2「実習に臨んでの課題・抱負」を作成する。実習までのスケジュールに沿って行動する。